

命を育む食の生産現場である「農山漁村」は豊かな自然や移ろう季節を体感できるゆとりとやすらぎの場でもあります。今や世界的潮流である健康志向や環境意識が高まる中、日本ではスローな暮らしの創出の場として、「農山漁村」に大きな期待が寄せられています。

農山漁村地域に広がる緑豊かな自然、地域固有の伝統文化や郷土の味を、その地域に住む人々と交流しながら共に楽しみを分かち合う旅(グリーン・ツーリズム)や、農山漁村地域で育まれる安全で安心な農林水産物に対するニーズが年々高まっています。

一方、農山漁村地域においても、体験型の観光やグリーン・ツーリズムを核として地域活性化を図るべく、多様なプログラムとあたたかいおもてなし、各種の地域資源を活用した施策で都市の皆さまを受け入れています。

そのような状況のなか、当機構では、都市と農山漁村を相互に行き交う新たなライフスタイルの実現を目指す国民運動、「都市と農山漁村の共生・対流」(オーライ!ニッポン)を推進し、全生活者の皆さま、企業、NPO、公共団体など各種団体の皆さまと手を携えつつ、調査研究の実施やセミナー開催などの多様な農山漁村の交流情報の提供などを通じて、農林漁業の振興や地域づくり、ゆとりと安らぎのある安全・安心な社会の実現の支援を行ってまいります。

また、子どもの成長を支える教育活動の場としての「子ども農山漁村交流プロジェクト」の推進、農山漁村地域が抱える課題解決のための農山漁村コミュニティビジネスセミナーの開催、都市住民等の受け皿となる農林漁家民宿の登録、都市住民にとって魅力的な着地型旅行商品づくりの支援とその商品の旅行会社への橋渡し等、都市と農山漁村の交流による地域活性化のための支援を実施いたします。

都市と農山漁村の共生・対流[オーライ!ニッポン運動]の推進

新たな
ライフスタイルの
普及を目指して

グリーン・ツーリズムや週末田舎暮らしなど、都市と農山漁村を行き交う新たなライフスタイルを広め、都市と農山漁村に暮らす人々が、互いの地域の魅力を分かち合い、「人・もの・情報」が活発に循環する新しい日本を目指す国民運動です。



平成15年度から7省連携のもと、都市と農山漁村の共生・対流の優れた取組を表彰する「オーライ!ニッポン大賞」や全国各地の情報を発信するwebサイトの運営等により、普及・啓発活動に取り組んでいます。

<http://www.kouryu.or.jp/ohrai/>

優良事例の
普及・
情報発信



子ども農山漁村交流プロジェクト

子どもたちの
“生きる力”を
育もう！

受入地域と学校とのコーディネート

平成20年度から開始された「子ども農山漁村交流プロジェクト」(愛称:ふるさと子ども夢学校)は、学校の児童・生徒による農山漁村でのふるさと生活体験活動(農林漁家での宿泊等)への参加を推進する取組です(総務省、文部科学省、農林水産省の3省連携の施策)。



子どもたちの受入活動を担う“受入地域協議会”が全国的に発足していますが、当機構では、①受入地域協議会の登録(安全対策等の確認)、②受入体制の整備の支援、③受入地域と学校等とのコーディネート(インターネットでの受入地域情報の公開、学校関係者等への情報提供等)を行っています。

<http://www.kouryu.or.jp/kodomo/>



地域の人々
との交流
“ふるさと生活
体験活動”

6次産業化の推進と地産地消



地域ビジネスの展開と新たな業態の創出を行う取組(6次産業化)を推進しています。生産・加工・販売の拠点である直売所を核として6次産業化を支援するとともに、全国の直売所のネットワーク化を図り、相互の情報交換、研修等を通じて直売活動の質的向上と経営の安定を図ります。また、関係者が一堂に会し相互の情報交換や運営上の課題と対策の検討を行う「全国農林水産物直売サミット」を開催します。

また、地産地消推進活動の優良事例の情報収集を行い、先発事例における成功の秘訣などを探り、これらの情報を集約・分析して報告会や成果品を通じて全国的な発信を進めます。

<http://www.kouryu.or.jp/service/chisanchisho.html>

生産者へ
情報提供
消費者には
食の安全を

広報・出版事業

都市と農山漁村の交流情報について多彩な出版物をご提供しています。まず、“農林漁家泊”によって得られる教育効果の高い体験プログラムの作り方などを実践するための「農林漁家泊による学校教育旅行コーディネーターのための手引きI」を出版。他にも「農産物直売所へ行こう!」「きらめく農家レストラン」等のグリーン・ツーリズム感動物語シリーズ、農山漁村の交流の促進やむらづくりに関す

る調査報告書、優良事例集、各種マニュアル、テキスト、パンフレットなども発行しています。



● 里山林の保全と利用の促進

かつて薪炭や堆肥の生産等を通じて管理されていた「里山林」は、近年は荒廃が進み、水源涵養や生物多様性保全などの多面的機能の発揮が難しくなっています。このため、東京・埼玉・神奈川の1都2県で、地域住民が都市住民、学校・大学、企業、NPO法人等と連携して行う里山林等の保全と利用を支援します。

<http://www.kouryu.or.jp/service/satoyama.html>



グリーン・ツーリズム活動の推進

まちむらセミナー

農山漁村コミュニティビジネス、廃校活用、農産物直売所等、地域の活性化を図る各種セミナーを定期的に開催しています。

<http://www.kouryu.or.jp/service/seminar.html>

廃校活用施設開設の支援

地域活性化拠点としての未利用の廃校舎等を活用した「廃校施設」に関する事業化の検討や計画策定等の支援活動を行います。

<http://www.kouryu.or.jp/service/haiko.html>

農林漁業体験民宿

農林漁業体験民宿は、グリーン・ツーリズムの拠点として様々な田舎体験を提供しています。そこで、登録農林漁業体験民宿の情報提供および振興のための民宿開業相談、民宿研修会開催などを行います。

<http://www.kouryu.or.jp/gt/inn/>

海外との交流

海外との交流（大韓民国農漁村青少年研修やブルー・ツーリズム旅行団の受入れなど）を推進しています。

インストラクター育成スクール

体験指導者（グリーン・ツーリズムインストラクター）や、体験企画の立案・調整をするコーディネーターの育成、現場レベルでの魅力的な体験プログラムの開発についての研修会を開催しています。



セミナーや研修会の開催

<http://www.kouryu.or.jp/service/school.html>

着地型旅行商品づくりの支援

グリーン・ツーリズムに着目し、自然豊かな農山漁村の生活文化、伝統、地域の食、交流をテーマに着地型旅行を企画・紹介しています。日本の良さを改めて感じることでできる旅を目指しています。

<http://www.kouryu.or.jp/service/trip.html>

農村地域工業等導入促進法関連業務

農村地域への工業の導入に関する実施計画の策定にかかる計画支援及び農村地域工業導入制度に関する研修会の開催並びに同制度に関する情報提供等。

<http://www.kouryu.or.jp/service/noukou.html>



グリーン・ツーリズム情報の発信

ホームページ ▶ <http://www.kouryu.or.jp/gt/>

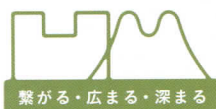
Facebookページ ▶ <https://www.facebook.com/machimura.jp>

Twitter ▶ <https://twitter.com/machimura>

全国の農林漁家民宿、農家レストラン、農産物直売所、交流施設、観光農園等のグリーン・ツーリズムデータを検索可能なグリーン・ツーリズムデータベースをはじめ、都心のアンテナショップや各地のイベント情報の紹介等、都市の皆さまにwebサイト等を通じたグリーン・ツーリズム情報を提供しています。

さらにブログやFacebook、Twitter等SNSを活用し、グリーン・ツーリズムに関心の深い方への情報提供にも取り組んでいます。

まちむら交流きこう



繋がる・広まる・深まる

(一財)都市農山漁村交流活性化機構

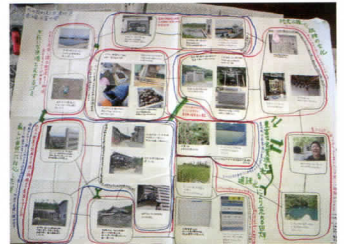
地域再生をトータルにサポート!

◎ 地域づくりワークショップ

グリーン・ツーリズムの関係者を対象として、都市と農山漁村の交流、地域づくりのノウハウや人材育成の方法等を学ぶ地域づくりワークショップや研修会の開催を請け負います。

http://www.kouryu.or.jp/service/chiki_ws.html

農林漁業体験や地域の優れた特産品、伝統文化、景観等の埋もれている地域資源を掘り起こしつつ、都市と農山漁村の効果的な交流に結びつけるための方法論や組織づくり、また、都市部へ向けての効果的な情報発信方法等について、実践的な手法を学びながら地域の関係者自らが地域づくり・交流活動を進めていくことをお手伝いするものです。



◎ 各種の構想・計画づくりの支援

調査研究や人材育成等の実績・成果を活用して、農業・農村振興に向けて市町村等が策定する各種構想・計画づくりを支援します。

また、グリーン・ツーリズムを推進している地方公共団体に対して都市農村共生・対流総合対策交付金等の国の交付金事業を活用した事業化戦略の提案やアクションプログラム作成等の支援活動を行います。



◎ 事業の導入・評価の支援

農林水産省など国の交付金事業を導入する場合、事業評価が年々厳しく求められています。

当機構では、事業目標の確実な達成を支援する事業マネジメント手法を開発しました。この手法は、ロジックモデルとワークショップを用いて、事業計画の立案と合意形成(Plan)、事業の実施(Do)、事業評価(Check)、改善実施(Action)を繰り返しながら、より高い事業効果の発現を目指すものです。この手法を用いて、皆さまの地域における事業の円滑な導入と事業目標の実現を支援します。



具体的な実践支援の内容

農産物直売所・廃校活用交流施設・子ども農山漁村交流プロジェクト・着地型旅行・交流施設等の利活用向上・農林漁家民宿・ワーキングホリデー・滞在型市民農園

■ ご相談から契約までの簡単な流れ(地域づくりトータルサポートの場合)

1

電話やE-mail等でご連絡下さい。ご相談を伺います。

2

ご要望を反映した業務提案書と見積書を作成し、ご提案致します。

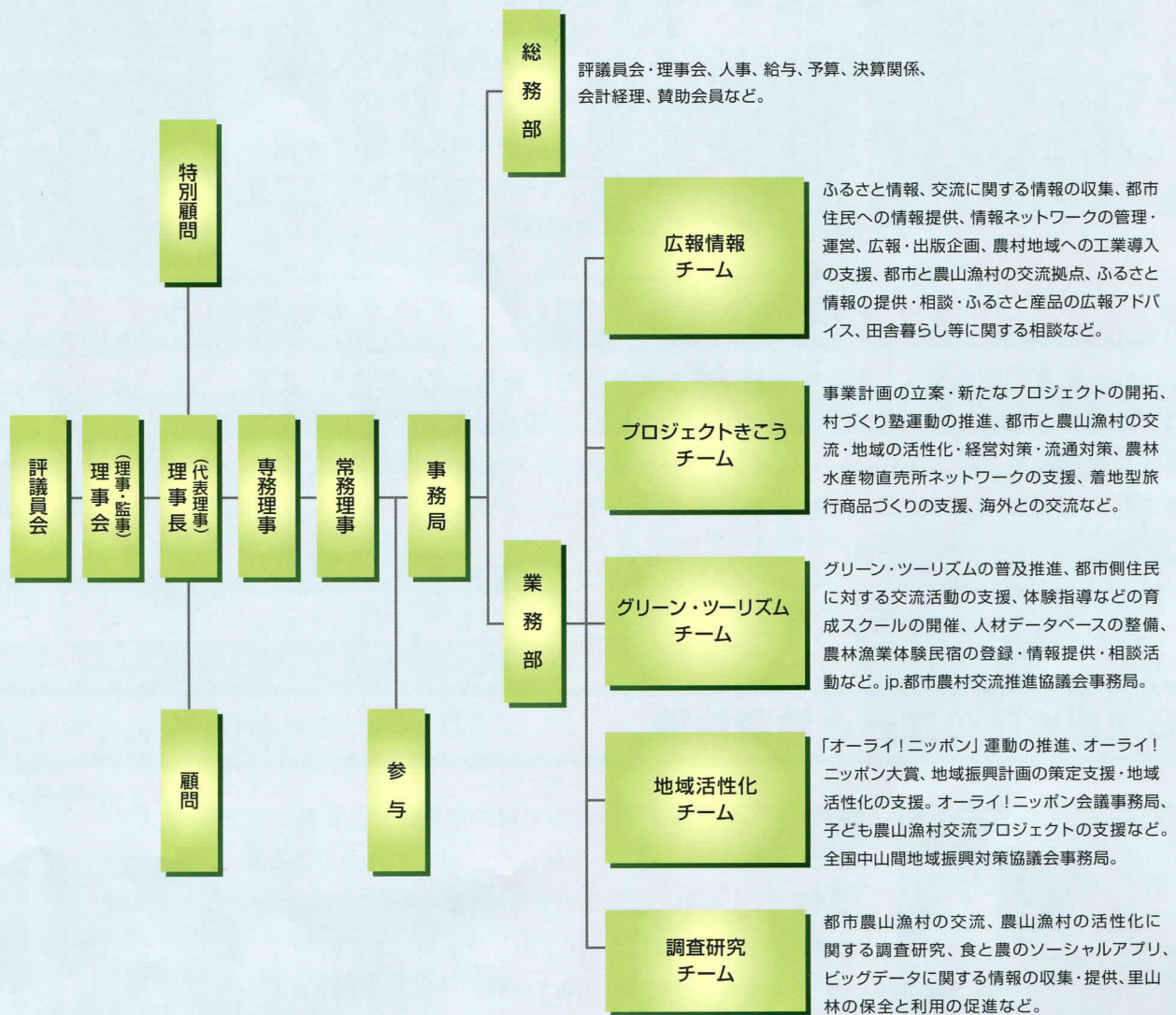
3

ご契約の意志が固まったら、実務内容・概況把握のため現地へ伺います。

4

ご契約についての手続き終了後、さっそく実務・実践を開始致します。

組織図



組織概要

事務所 東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階

役員 理事長(代表理事) 今村奈良臣(東京大学名誉教授)
専務理事 山野 昭二

一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構 (愛称: まちむら交流きこう)

東京都知事登録旅行業第2-5925号
The Organization for Urban-Rural Interchange Revitalization

〒101-0042
東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階
TEL: 03-4335-1981 (代表)
FAX: 03-5256-5211
<http://www.kouryu.or.jp/>

JR「神田駅」 東口より 徒歩5分
東京メトロ銀座線「神田駅」 3番出口より 徒歩5分
都営新宿線「岩本町駅」 A1出口より 徒歩3分



まちむら交流きこう



一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構